

国立感染症研究所による強化サーベイランスへの協力について

1 概要

国立感染症研究所が、国葬儀（令和4年9月27日）の実施に伴うマスクギャザリング対策として、強化サーベイランスを実施するため、情報共有会議を開催、都はこれに参加し、情報提供を行った。

2 参加機関

- 国立感染症研究所（所長、副所長、研究企画調整センター、細菌第一部、感染病理部、獣医科学部、感染症疫学センター、実地疫学研究センター、病原体ゲノム解析センター、感染症危機管理研究センター）
- 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
- 厚生労働省（大臣官房厚生科学課、健康局結核感染症課）
- 東京都福祉保健局（感染症対策部、健康安全研究センター）
- 港区（みなと保健所）＜迎賓館赤坂離宮の所在地を管轄＞
- 千代田区（千代田保健所）＜日本武道館の所在地を管轄＞
- 広島県感染症・疾病管理センター

3 実施期間

令和4年9月20日から同年10月3日まで（国葬儀の前後約1週間）

4 情報提供内容

- （1）救急搬送サーベイランスの探知状況（毎日）
- （2）集団食中毒事例（2件：施設、学生寮）
- （3）サル痘（1件）
- （4）新型コロナウイルス感染症患者数（毎日）
- （5）インフルエンザ定点当たり報告数（2回：第37週、第38週）

5 救急搬送サーベイランスの情報提供方法

令和4年9月19日から同年10月2日までを対象として、異常探知情報の有無、有る場合はその内容について、原則として毎日午前10時までに、健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課から感染症対策部防疫・情報管理課で報告を受け、情報共有会議で報告

⇒ 9月26日に異常探知情報を報告（同一世帯と推測される搬送事例）